



右馬允たじ

来たツウヒクキが 果の木に果おて賑やかで 庭のゆめじは
 黄色の先に赤みのク 和菓子的心情です。 味覚から 視覚へ
 移行するところす。 その味覚は...大豊作の松茸年とが
 リました。 10月の5、6日ころは 連日 松茸の山いこみ
 ととうしつというの というくらいの出で 味よく香り
 が上質の本当に素晴らしい 松茸をろいでした。 こん
 な年は だれも山に入ろうと松茸といるにーと
 いうので 私たちも 出かけた外 サクラマンや
 フウセンタケは 山程としても 松茸は とうにも
 みつからず 悔しい 思... をしました。 ひとつ目の
 前を 素通りしてゆく松茸と 今年ばかりは 私の口にも
 入って来てくれました。 その時の 幸福感は やつ格別
 お客様 毎年毎年 夢中に なる 訳だから、と 納得した
 次第です。

日々

色をえ

ふゆの

最終

あふ

己

友

四日間 続いた雨の上から 今朝 その向に 山は
 それをトに 深くて 霧が晴れていく 向に 向に 美しい 姿を
 みせてくれています。 エナガの 群れや 北の方から 渡って

訪れて、夕方から 夜中の3時の 行程で 中央高速
 を 往復しました。 往きは 次男の 亮と 帰りは 長男 允
 と。 またすら 目的地に向って 走る というものでした。 車中
 息子たちの 思いを 聞く ことか 出来。 日頃 こんがらの ことなど
 どうするのかわからず 思っていたもので ずいぶん いい 時を 奪って 決
 めたものと 有難く、その時を 過ごしました。 二人は 今池袋の
 ハリの 朝市に お世話になって 夜や夜や いろいろの 話を
 するようす 二人で 何かを スタート させた ようです。 構想
 通り 事か 運ぶよう 私たちとしては 願う しかない かなと 話を
 聞きながら 思い 子と たちの 望みか 天に 届く 時 かなと 祈りました。